

日本の自動車保有台数は今や8,200万台にのぼり、その一台一台は“整備”という大切な行為によって支えられています。一方で脱炭素化の流れは想像以上に早く、そのエネルギー源はガソリンから電気へと加速度的にシフトしています。また AI 技術等の進歩により、安全性・利便性も着実に向上しつつあります。

当校は自動車整備の基本はもとより、これら技術の進化を先取りしたカリキュラムをいち早く取り入れ、将来の日本の自動車産業を担うエンジニアの育成に教職員一丸となって取り組んでおり、数多くの卒業生が様々な自動車分野の第一線で活躍しています。

自動車エンジニアを目指す皆さんが、その“夢”を叶える為の第一歩をこの日産京都自動車大学校で踏み出される事を、教職員一同、心からお待ちしております。



日産京都自動車大学校
学校長 川嶋 則生